

「提案型共同研究」

ICT技術を活用した水源かん養林保全実証を開始！

福岡市水道局では、ICT技術を活用することで、業務の効率性と生産性の向上に取り組んでいます。九州電力株式会社福岡支店と、本日、ドローンを活用した「マルチスペクトルによる水源かん養林保全実証」に関する共同研究協定を締結しましたのでお知らせいたします。

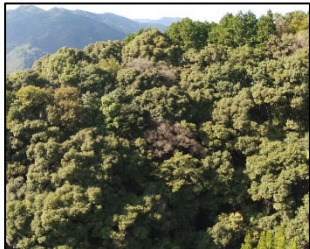
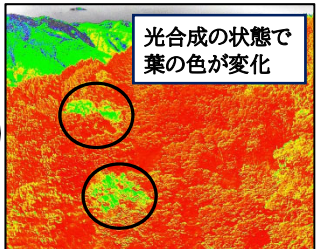

1 実証実験の目的

水道局は、ダム集水区域内の森林の水源かん養機能を向上させるため、市内の3つのダム(曲淵、脊振、長谷)周辺に、566haの水源かん養林を所有し、計画的に間伐や植樹などの整備を行っています。また、踏査による点検等を実施することで、立ち枯れ樹木などを早期に発見し、倒木事故の未然防止に努めておりますが、広範囲に及ぶ水源かん養林の点検には、多くの時間と労力を要しているため、効率的な点検方法を調査研究し、事業運営のスマート化を目指しています。

今回実証する、ドローンによる上空からの広範囲な点検が可能となれば、点検業務の効率化と事故防止対策の強化につながります。

2 実証実験の内容

実証実験は、マルチスペクトルカメラを搭載したドローンにより、水源かん養林を上空から撮影し、樹木の葉の光合成の状況を確認することで、立ち枯れしている樹木の判別が可能かを検証するもので、研究期間は令和4年3月17日から7月29日までとなっております。

<p>【通常の可視画像】</p>  <p>※光の状態を可視化。植物が光合成を行った後の反射光を観測することで、葉の健全度の状態を把握</p>	<p>【マルチスペクトル※画像】</p>  <p>光合成の状態 葉の色が変化</p>	<p>【曲淵ダム周辺の水源かん養林】</p>  <p>ドローン撮影</p> <p>実証場所は、スギやヒノキの人工林と広葉樹等の自然林が混在している場所を選定</p>
--	--	---

- 3月24日(木)に、別紙のとおり第1回目のドローンによる撮影・点検を実施します。実証実験状況の撮影及び共同研究者へのインタビューが可能ですので、取材をお願いします。
- 天候等により延期する場合がありますので、取材の際には事前に下記へご連絡ください。

【お問い合わせ先】

水道局計画部流域連携課 たちばがわ たていし
立場川、立石
電話：092-483-3195 (内線 148-3195)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



共同研究者による水源かん養林保全実証実験（第1回ドローン点検）

○ 日時

令和4年3月24日（木曜日） 13:30 開始

※ 天候等により延期する場合があります。

取材の際には事前に下記の流域連携課までご連絡をお願いします。

○ 当日のスケジュール

13:30 ~ 概要説明

13:40 ~ 実証実験開始

14:30 実証実験完了

【お問い合わせ・取材申し込み先】

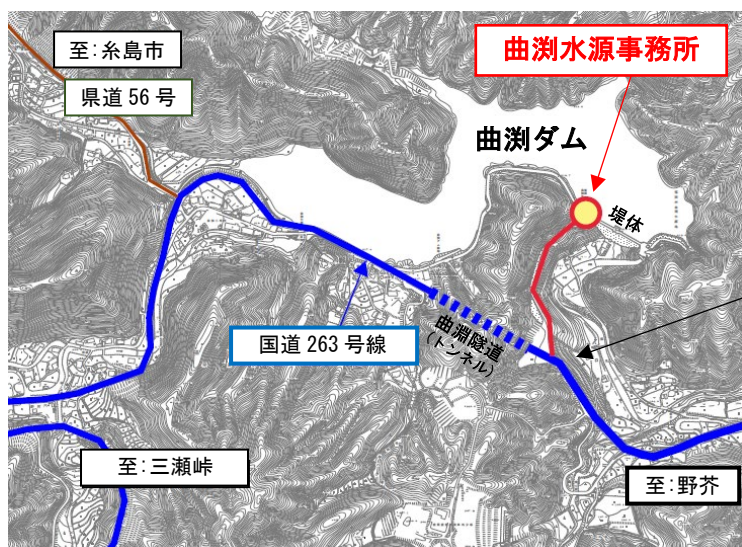
水道局計画部流域連携課 たちばがわ たていし 立場川、立石
電話：092-483-3195（内線 148-3195）

実証実験では、曲淵ダム堤体からドローンによる水源かん養林の点検を実施します。

○ 場所

福岡市水道局 曲淵水源事務所（福岡市早良区大字曲淵67）

（アクセス）



※ 都市高速 野芥 I C から車で 25 分

当日の連絡先：090-3602-3195（流域連携課 携帯）

○ その他

- ・ 本件については、九州電力株式会社からも報道各社へ取材案内が行われています。
- ・ 曲淵水源事務所では係員が交通誘導を行います。指示に従って駐車してください。（駐車場は数台分有）
- ・ 当日はマスク着用、事前の検温等による体調確認をはじめ、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底をお願いします。